

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和 8 年度第 1 回相模原市入札監視委員会		
事務局 (担当課)		契約課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 8 2 1 7 (直通)		
開催日時		令和 8 年 7 月 2 3 日 (火) 午後 2 時から午後 3 時 3 0 分まで		
開催場所		相模原市役所 第 2 別館 3 階 第 8 会議室		
出席者	委 員	4 人 (別紙のとおり)		
	その他	0 人		
	事務局	1 7 人 (財政部長、契約課長 外 1 5 人)		
公開の可否		☐ 可 ☐ 不可 ☒ 一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由		法人に関する情報又は個人の当該事業に関する情報であって、公にすることにより当該法人等の権利、競争上の地位その他正当な利益を害する恐れがあるため また、審議、検討又は協議に関する情報であって、開示することにより、率直な意見の交換若しくは意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれ、不当に市民の間に混乱を生じさせるおそれ又は特定の者に不当に利益を与え、若しくは不利益を及ぼすおそれがあるため		
会議次第		1 開会 2 議題 (1) 入札契約手続きの運用状況等について ア 令和 7 年度第 4 四半期分 (2) 抽出事案の審議について ア 公共下水道汚水ます設置工事 (7-その 5) イ 放流管整備工事 (7-その 1 3) ウ 鹿島台こどもセンターエレベーター改修工事 エ 市立谷口小学校 A 棟長寿命化改修工事 (その 2) オ 相模原市公共下水道管路施設維持管理業務委託 (緑区・中央区) 3 その他 4 閉会		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(○は委員の発言、●は事務局の発言)

1 開会

2 議題

(1) 入札契約手続きの運用状況等について

事務局から、令和8年1月から3月までの入札契約手続きの運用状況等について説明した。

〈質疑応答〉

○学校の長寿命化関連の工事の応札者数が少なかった要因として、同時期に同種工事の発注が多くあり、入札に参加する事業者が案件を選ぶことができたこと等が要因であったとのことだが、選ばれにくい案件にはどのような特徴があったのか。(大塚委員)

⇒●建築工事関係では民間企業からの発注も多いといった状況の中、それぞれの事業者が配置可能な技術者等の状況を考えながら、条件の良い案件を選択できたこと等が、応札者が少なかった要因ではないかと推測している。

○生活保護世帯を対象としたサポート業務委託関連において、発注方式をプロポーザル方式から一般競争入札へ切替えたとのことだが、どの程度の事業者が参加することを想定していたのか。(大塚委員)

⇒●今回から一般競争入札により発注したこともあり、具体的な参加者数を事前に見込むことは難しく、結果として参加者が1者のみとなったと考えられます。

○児童クラブ派遣関連について、複数案件の落札事業者の名称が、「株式会社明日香」及び「株式会社アスカ相模原支店」と似ているように見受けられるが、同一会社又は関連会社なのか。(大塚委員)

⇒●別会社である。

⇒○指名停止措置等の運用状況一覧について、No. 13「神鋼環境メンテナンス株式会社」について、現在履行中の契約と次回の契約への影響はあるのか。(大塚委員)

⇒●指名停止措置による現在履行中の契約への影響はない。また、次回の契約を締結する際においても、指名停止期間が満了しているため、今回の指名停止措置による影響はないと考える。

○No. 67「公共施設予約システム構築業務委託」について、総合評価方式では、失格となる技術点の基準はどのように決めているのか。(鈴木委員)

⇒●落札者決定基準は、特定の事業者に有利にならないよう、専門的な知見を持つ学識経験者等の意見等も踏まえ、公平性を確保しながら案件毎に設定

している。

(2) 抽出事案の審議について

法人に関する情報又は個人の当該事業に関する情報であって、公にすることにより当該法人等の権利、競争上の地位その他正当な利益を害する恐れがあるため、内容非公開。

3 その他

(1) 次回開催日程について

4 閉会

以 上

相模原市入札監視委員会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	大塚 誠	桜美林大学 ビジネスマネジメント学群 教授		出席
2	梶田 佳孝	東海大学 建築都市学部 土木工学科 教授	委員長	出席
3	嘉藤 亮	神奈川大学 法学部 教授		欠席
4	鈴木 愛海	公認会計士		出席
5	根岸 小百合	弁護士		出席